

## 中流左岸域公園整備計画の対象地区(案)

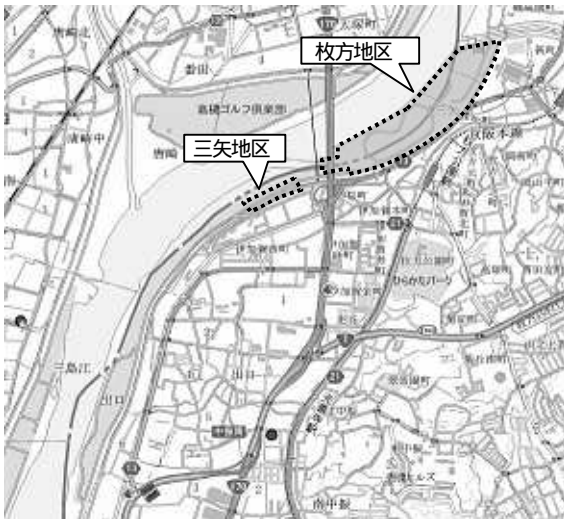
### ・中流左岸域のモデル地区

地区会議で収集した意見および地区特性をふまえて、以下の地区を中流左岸域のモデル地区として、公園整備計画の検討を進める。

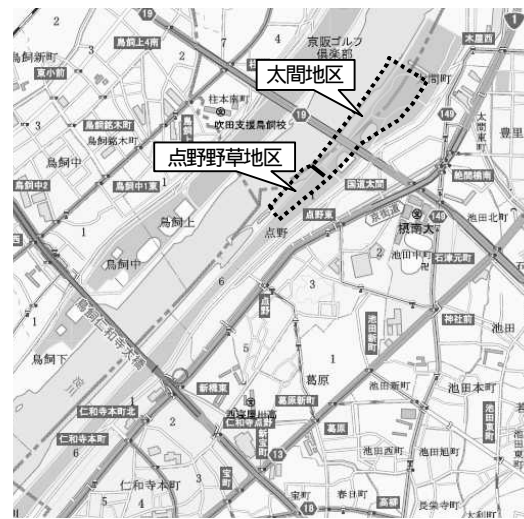
#### 中流左岸域のモデル地区

##### 1. 枚方・三矢地区

##### 2. 太間・点野野草地区



1. 枚方・三矢地区



2. 太間・点野野草地区

### ・モデル地区の整備の考え方

#### 1. 枚方・三矢地区

整備テーマ：「歴史文化と連携した川らしい利用」

- 整備方針：
- ・噴水、多自然池の見直し、親水空間の創出
  - ・船着場の活用、枚方宿との連携
  - ・未開園区域を含む環境保全と利用の調和

#### 2. 太間・点野野草地区

整備テーマ：「ワンドの環境改善と水辺とのふれあい」

- 整備方針：
- ・点野ワンドの環境改善、水陸移行帯の確保
  - ・人工池の見直し、点野ワンドへのアクセスの改善

# 枚方・三矢地区の現況特性

## 年間利用者数と主な公園施設

	年間利用者	主な公園施設
枚方地区	平成22年度年間利用者数 588,041人	淀川スタジアム(野球場・サッカー場兼用) 淀川アクアシアター 流域自然園 多自然池 駐車場(420台)
	野球場11,453人 サッカー・ラグビー場 7,495人 運動施設は内数	
三矢地区	平成22年度年間利用者数 110,644人	テニスコート(ハードコート4面) 芝生広場 砂場 駐車場(68台)
	テニスコート 5,625人 運動施設は内数	

## 各視点からの現況

	ゾーニング計画の実現	魅力	快適性	つながりの改善	
現況	枚方地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の供用区域の大部分が「多目的利用ゾーン」になっている。</li> <li>供用区間の水際の帯状のエリアが「水辺環境保全・再生ゾーン」になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広大な広場が整備され、多目的な利用が可能になっている。</li> <li>淀川アクアシアターや流域自然園など、他の地区にない多様な施設がある。</li> <li>「淀川資料館・枚方宿」が隣接し、淀川の自然や歴史文化を学べる環境が整っている。</li> <li>緊急用船着場が整備され、平常時は舟運イベント等に利用されている。</li> <li>バーベキューエリアが指定されている。</li> <li>堤防道路及び緊急用河川敷道路に沿って「北大阪周遊自転車道(北大阪サイクルライン)」が走り、広域的なサイクリングが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場や主要ポイントにトイレが6箇所設置されている。</li> <li>広大な空間に広々とした芝生広場が広がる。</li> <li>マムシの存在が確認されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下流方向には緊急用河川敷道路を通じて移動は容易である。</li> <li>堤防道路は、車道兼用であるが、歩道が整備されている。</li> <li>横断方向は階段での移動が中心であるが、緩傾斜スロープが設置されている。</li> <li>徒歩圏に枚方駅、枚方公園駅があり、公共交通の利便性は高い。</li> <li>徒歩で歴史的な町並み(枚方宿)を観光できる。</li> </ul>
	三矢地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の供用区域の半部分が「水辺環境保全・再生ゾーン」になっており、テニスコートや駐車場の一部が含まれている。</li> <li>その他は緊急用河川敷道路に沿って帯状の「多目的利用ゾーン」になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーベキューエリアが指定されている。</li> <li>緊急用河川敷道路に沿って「北大阪周遊自転車道(北大阪サイクルライン)」が走り、広域的なサイクリングが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレが1箇所設置されている。</li> <li>マムシの存在が確認されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下流方向には緊急用河川敷道路を通じて移動は容易である。</li> <li>堤防道路は、駐車場へのアクセス区間が車道兼用となっている。</li> <li>横断方向は階段での移動が中心でバリアフリーには未対応である。</li> <li>近傍に鉄道駅がなく、公共交通はバスが中心となる。</li> </ul>



# 枚方・三矢地区の課題（地区会議の意見）

## 凡例

整備に関する事項(公園区域内)

整備に関する事項(公園区域外)

維持管理に関する事項

(注:地区会議でいただいた意見のうち、枚方・三矢地区に関する意見のみ掲載した。)

## 舟運、歴史・文化

淀川の堆砂が多く、Eボート等の競技の支障となることがある。

河川敷道路から船着場までのアクセス道路を整備する。

カヌー等の水上スポーツのスペースの確保。

枚方宿との関連性を高めたい。

## 水辺とのふれあい

子どもが遊べるような水面が近くにない。

水際に近づけると水(本流)を感じられるところが、ごく一部である。しかもコンクリート護岸なのが残念。川の横でありながら川を感じられない。

本流ではなかなか遊べないので、広い冠水帯を作って、子どもたちも川の自然を楽しめるようにしてほしい。

川岸の柵にネットを設置して安全性を高める。

## 流域自然園

淀川本流ならではのダイナミックな川の流れを体験できるようにしてほしい。

生物の多様性を高めるために、小魚・稚魚が育つ浅い池があっても良いのではないかと。

枚方地区の流域自然園の池への給水ポンプが動いておらず、枯れた池・水域のまま目的を果たしていない。

自然園の位置づけが分からない。どんな自然を維持、創造したいのか？



## 運動施設

テニスコートがハードコートなので足が痛い。オムニコートにして欲しい。

三矢地区のテニスコートが不便。分かりにくい。

球技場、グラウンドの整備、設置。

枚方市域の河川公園はスポーツ施設が少ないように思われる。そのため、太間地区等のグラウンドを利用することが多くなっている。

枚方付近にグラウンドゴルフのできる場所がない。(現在他地区へお金を払って出かけている)

枚方地区の駐車場近くにグラウンド・ゴルフ場を!

## その他の公園施設

砂場の利用があまりないようなので知恵を出す。

子どもが遊ぶ場所、大人の球技、犬の散歩(ドッグラン)などは、スペースを区切ってルール付けをする。

ドッグランの設置を検討して欲しい。

枚方地区では高木が5本と少ない。あと5本は欲しい。

日陰が少ない。

仮設トイレではなく、防犯ベル等のあるきれいな公衆トイレを作る。

枚方地区に花を多く植える!

多目的エリアでは規制がない。

## 駐車場

駐車場を増やして欲しい。

多目的エリアにスポーツゾーンと駐車場が両方あるとよい。

駐車場は有料でも良いのではないかと?

交通(足)が不便なので車を利用しているが、もう少し長く駐車場の時間を取って欲しい。

## アクアシアター

当初作ったままで利用目的が良く分からないところが見られる。(枚方地区の淀川の大滝、アクアシアター横の噴水など)

アクアシアターの有効活用。

アクアシアターを音楽ステージとして開放したい。

## 利用者の獲得

平日の利用者を増やす工夫が必要。

移動レストラン(コンテナレストラン)が欲しい。

利用者がルールを守ることを条件に飲食物を販売してはどうか。

## 自転車

サイクリングコース、ジョギングコースの設置。

自転車(サイクリングロード)を通りやすくしてもらいたい。

## その他のご意見

広く多くの方が利用できる公園としてつづつ、その公園ごとにコンセプトを決めて整備することが必要。

高齢者を対象とした公園づくり。(イングリッシュガーデン)

公園の利用方法の目的の管理。高齢者適用ゾーンや障害者活用ゾーンの設定、音楽・絵画・写真などの文化活動の活用ゾーン。(建物がない)

都市公園として開設区域の拡大。現状においてももっと開設できないか。

川の生態系の基盤を再生すべき。

自然とふれあえるようにする整備。

河川公園であっても街中の公園と変わらない整備がされている。

公園施設があまりにも単調である。

枚方地区、三矢地区など地区毎に区分がされているが、地区ごとの違いが良く分からない。

公園が地区ごとに分かれている理由が分からない。

# 太間・点野野草地区の現況特性

## 年間利用者数と主な公園施設

	年間利用者	主な公園施設
太間地区	平成22年度年間利用者数 365,565人	野球場(1面) 陸上トラック(1面) 芝生広場 駐車場(217台)
	野球場 17,538人 陸上競技場 6,423人 運動施設は内数	
点野野草地区	平成22年度年間利用者数 39,531人	野草広場

## 各視点からの現況

	ゾーニング計画の実現	魅力	快適性	つながりの改善	
現況	太間地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の供用区域の大部分が「多目的利用ゾーン」になっている。</li> <li>供用区域の水際に沿った帯状のエリアが「水辺環境保全・再生ゾーン」になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芝生広場や運動施設が整備され、年間約36万人に利用されている。</li> <li>堤防道路沿いに「茨田堤」の碑がある。</li> <li>バーベキューエリアが指定されている。</li> <li>堤防道路及び緊急用河川敷道路に沿って「北大阪周遊自転車道(北大阪サイクルライン)」が走り、広域的なサイクリングが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「太間サービスセンター」が隣接し、休憩、シャワー、学習・研修、自販機等が利用できる。</li> <li>駐車場や主要ポイントにトイレが7箇所設置されている。</li> <li>全体的に日陰が少ない。</li> <li>野犬の存在が確認されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下流方向には緊急用河川敷道路を通じて移動は容易である。</li> <li>堤防道路は、駐車場へのアクセス区間が車道兼用となっている。</li> <li>横断方向は階段での移動が中心でバリアフリーには未対応である。</li> <li>近傍に鉄道駅がなく、公共交通はバスが中心となる。</li> </ul>
	点野野草地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の供用区域の半分程度が「水辺環境保全・再生ゾーン」になっている。</li> <li>その他のエリアは「多目的利用ゾーン」になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然豊かな野草地として整備されている。</li> <li>点野ワンドが隣接している。</li> <li>堤防の市街地側に隣接して「茨田樋遺跡水辺公園」が整備されている。</li> <li>堤防道路及び緊急用河川敷道路に沿って「北大阪周遊自転車道(北大阪サイクルライン)」が走り、広域的なサイクリングが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゴミ投棄」等が確認されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下流方向には緊急用河川敷道路を通じて移動は容易である。</li> <li>堤防道路は歩行者・自転車のみ利用する。</li> <li>堤防道路と遺跡公園は、バリアフリー対応のスロープで結ばれている。</li> <li>近傍に鉄道駅がなく、公共交通はバスが中心となる。</li> </ul>



# 太間・点野野草地区の課題（地区会議の意見）

## 自然環境の再生

埋まっているワンドを掘って復元する。  
水の出入りのない点野ワンドは出入り口を設けてほしい。  
水生生物の生息環境が少なく、ワンドの外周が陸地化している。  
点野の水路跡に水を引けないか？ここは浅くてよいので、絶やさない工夫が必要である。

ワンド釣り場に外来魚ポストを設置して、外来魚を放流しないように工夫し、そのリサイクルも考えたほうがよい。  
点野ワンド下流出口にサクアミをつくり、魚の出入りを止め、外来魚を捕獲する。（ある程度できたらサクアミは外す）

野草地区が荒れている。（カヤネズミの巣、ガガイモが見られなくなった）  
野草地区は名前は悪くはないがぴんときない。（中身がわかりにくい）  
野鳥を活かす活用をするとうい。

## 水辺とのふれあい

子供が水辺に近づきにくい。（川に降りられない）  
護岸がブロックで切り立っていて水辺に近づけない。  
水辺の利用ができる構造にしていく。

親水への取組みは河川の為に必要である。  
人が手を入れて整備し、「里川」的な整備を行う。  
砂州を切り下げて川と陸の連続性を確保する。

## 凡例

- 整備に関する事項(公園区域内)
- 整備に関する事項(公園区域外)
- 維持管理に関する事項

## その他の公園施設

トイレの数が不足している。



## 外来種対策

外来種（魚）が多い。  
外来種の植物が多い。  
ワンドにも外来種が多い。  
ヌートリアがいる。  
外来生物の侵入対策ができないか。（植物の除去、動物の対策、魚の駆除）

## 利用マナー

ゴミ放置などマナーが悪い。  
利用者のマナー向上が必要である。釣り人のテグス放置、飲食物のゴミ、犬の毛放置する人もいる。  
利用者のマナー向上。  
早朝のゴルフがまだ後をたたない。

## 運動施設

陸上競技場があまり使用されていない、他の利用方法を考えるべき。  
スポーツ施設の面積の割りに家族単位で使えるスペースが少ないと思う。（バーベキュー施設を除く）  
公園の運営管理は、利用が多いスポーツ施設と、それ以外の区域の住み分けしてをしようか？  
スポーツする場所とそれ以外の場所をしっかりと分けて管理していったほうがよいと思う。

## 舟運、歴史・文化

船着場は活用できる。  
茨田堤、茨田樋跡など歴史施設をもっとアピールしてはどうか？  
昔の語り部による淀川の話の子供たちに継承してはどうか？

## 駐車場

駐車場（門扉）の所の道路が危険。道路の門の改善。  
二輪車、バイクの駐輪場の場所を考えてほしい。  
駐車場の上の場所の空き地の利用を考えてみたらどうか。

## その他のご意見

淀川公園に行けば家族の絆、健康が高まるような公園作りをしてほしい。  
連続性を持った公園の計画を立てるべき。  
利用対象（者）別に企画された整備を行う。（家族、グループ別）  
長期的展望を持った公園計画を立てるべきだ。  
「点」から「面」への展開企画が必要である。  
多様な利用者があり、立場の違いがあるため、それに配慮した公園づくり。  
本日の見学では、多くのレジャー（野球、ゴルフ等）施設が見受けられた。代替施設を堤内地に移す努力がされているのかどうか？  
自然との調和に対する努力をしているのかどうか？